

令和6年度も半年が過ぎようとしています。医療・介護の現場の人材不足は変わりなく続いています。全国的には2040年頃からは生産年齢人口が急減に転じ、介護を含む各分野における人材不足が更に大きな課題とされていますが、ここ魚沼市はすでに介護難民が生まれつつあるような状況で現実味を帯びてきています。医療・介護DXは業務の効率化（職員の負担軽減、情報共有の迅速化）を実現できる、ともされています。加えて、ICTを活用したスムーズな連携も必要で、在宅医療推進センターでは、皆さんの協力を得ながら意見交換会や懇談会、ワーキングチーム等を開催しこれからもできることをできるところから少しずつ取り組んでまいりたいと思います。

## 会議・研修会等

- 6月13日 新潟県在宅医療推進センター実践報告会
- 6月14日 在宅医療の基盤整備の戦略策定に関する意見交換会
- 6月19日 魚沼圏域入退院連携ガイド事務局会議
- 6月25日 魚沼消防・施設看護師・訪問看護意見交換会
- 6月26日 通所介護区分別会議
- 7月 2日 新潟県ICTネットワーク連絡会
- 7月 4日 魚沼市身寄りなしガイドライン座談会
- 7月11日 ほんだ病院連絡会
- 7月12日 在宅支援者と小出病院意見交換会/居宅区分別会議
- 7月17日 魚沼圏域入退院連携ガイド事務局会議

- 7月17日 自立支援型地域ケア個別会議
- 7月22日 魚沼市中核機関運営協議会
- 7月27日 医師等多職種懇談会/懇親会
- 7月30日 新潟県地域包括ケアシステム推進セミナー
- 8月 9日 新潟県推進センターミーティング
- 8月23日 魚沼圏域入退院連携ガイド事務局会議
- 8月23日 見守り支援ネットワーク会議
- 8月28日 窓口対応力強化・向上研修
- 9月 6日 小出病院地域連絡会
- 9月12日 在宅医療推進センターワーキングチーム会議



R6.7.27

医師等多職種懇談会



宇都宮先生の話をしての方に聞いてもらいたいとの声から、今年は「土曜日」開催とし、ミニ講義を受けグループディスカッションを行いました。参加者からは「多職種と交流する場や機会があることは大事なと感じました」「先生の話しがとっても良かったです。本人の意見をきくことや本人の幸せを感じることが大切とあらためて思いました」等の感想が寄せられ、有意義に過ごせた土曜日の午後となりました。また、懇談会終了後の懇親会も少数ではありましたが、膝を突き合わせての話しができ、宇都宮先生を囲み楽しい夕べを過ごし、親交を深めることができました。来年度も医師等多職種懇談会を継続していきます。希望するテーマなどありましたらお知らせください。ご参加いただきました皆様大変ありがとうございました。



会議の内容等

参加者の代表からそれぞれから現状を報告いただき、事前のアンケートの内容をもとに意見交換を行いました。相互理解の100点を目指すことは困難な道のりですが、「立場の違う組織間で、できること・できないことを説明しあい、納得の上で互いの過剰期待をなくしていくプロセス」の場（連携協議）として継続的な会にしたいと考えています。ご意見などございましたら、在宅医療推進センターまで遠慮なくお知らせください。

R6.9.12 在宅医療推進センターワーキングチーム会議



会議の内容等

第1回で上げた課題について、解決したい課題の優先順位をその理由も含めて各区分の意見をまとめました。解決したい課題を多い順に、「1.医療と介護、行政とのコミュニケーション」「2.ICTの活用」「3.人材不足」に整理を行いました。第3回では、解決したい課題について、グループワークを行う予定です。

【今後の会議等予定】

- 10月 2日 うおぬま医療の「未来」を語る市民フォーラム
- 10月17日 専門研修会  
「知っておこう！CKDという名の国民病」
- 10月21日 市町村担当者等研修会
- 11月13日 自立支援型地域ケア個別会議
- 11月15日 市町村担当者等研修基礎演習
- 11月18日 多職種連携事例検討会
- 11月19日 魚沼圏域入退院連携ガイドワーキング会議
- 12月12日 在宅医療推進センターワーキングチーム会議



	月	火	水	木	金	土	日
大平	○	○	○	○	○		
中村		○	○		○		

令和6年4月1日からの勤務体制  
 大平 8:30~17:15  
 中村 8:30~16:15

小さなことからどうぞご利用ください

医療と介護の相互理解や職種間の意思疎通が困難な場合など、多職種多機関が抱える課題に対して、より良い方向で検討できるようサポートします。